

磐梯朝日国立公園
(磐梯吾妻・猪苗代地域)

指 定 書

令和 7 年 2 月 28 日
環 境 省

目 次

1	指定理由	1
2	地域の概要	4
	（1）景観の特性	4
	ア 地形、地質	4
	イ 植生・野生生物	4
	ウ 自然現象	5
	エ 文化景観	5
	（2）利用の現況	5
	（3）社会経済的背景	5
	ア 土地所有別	5
	イ 人口及び産業	6
	ウ 権利制限関係	6
3	公園区域	10

1 指定理由

① 景観（同一風景中、我が国の風景を代表する傑出した自然の風景地）

磐梯朝日国立公園は、東北地方中南部に位置し、山形県・福島県・新潟県の3県に跨り、出羽三山・朝日地域、飯豊地域及び磐梯吾妻・猪苗代地域の3つの地域からなる。

出羽三山・朝日地域は、地盤は第三紀層から成り、第四紀初期にかけて隆起し形成された、主に花崗岩類が核心部を構成している大朝日岳、西大朝日岳等からなる朝日山地と、その北端に位置する第四紀後期に形成された成層火山である月山、そして羽黒山及び湯殿山からなる出羽三山を含んでおり、火山性山地と非火山性山地で構成されている。飯豊地域は、北部の荒川溪谷と大日岳、飯豊山、御西岳等 2,000m級の山々からなる飯豊山地から構成され、飯豊山地は朝日山地と同じく花崗岩の隆起山地である。

両地域はともに世界有数の豪雪地帯であるため、各所に万年雪が見られる。また、多雪に加え、強風地帯でもあるため、全般に冬季の季節風による偏東積雪の影響を受け、雪食非対称地形が顕著であり、東西非対称の地形を形成している。両地域は極めて原始性の高い山岳地帯が広がり、山麓部にはブナを主体とする落葉広葉樹林が広く展開する。

飯豊山地及び朝日山地の特徴のひとつに、偽高山帯が展開していることが挙げられる。これは、温度条件では針葉樹林となるべき亜高山帯がミネカエデやナナカマド等の落葉低木群落やササ原に置き換わり、高山帯に似た景観を持つ植生帯となることである。また、氷河の侵食や堆積作用により形成される氷河地形や、地中の水分が昼夜の温度差で凍結と融解を繰り返すことにより形成される周氷河地形もみられる。この周氷河作用により形成された平滑な斜面により、膨大な積雪が蓄積され、雪^{ゆき}溜^{くぼ}が多く形成されている。山頂や尾根付近では、冬季季節風の風下側に相当する山体東斜面に雪田群落^{ユキタ}が広がり、飯豊地域の固有種であるイイデリンドウをはじめとした豊富な高山植物がお花畑を形成している。また、ハイマツ低木林や風衝草原といった風衝植生がみられる。広大なブナ等の原生林に覆われた山地には多くの野生動物が生息しており、ツキノワグマやニホンカモシカ等の大型哺乳類のほか、イヌワシ、クマタカ等の猛禽類も生息している。また、出羽三山や飯豊山は古くより山岳信仰の霊山とされ、修験道^{シュケン道}の場として栄えてきた歴史がある。出羽三山神社参道の羽黒山のスギ並木は学術的にも貴重であり、羽黒山周辺は歴史的景観地として知られている。

磐梯吾妻・猪苗代地域は磐梯火山や猫魔火山、吾妻火山、安達太良火山等の山々からなる磐梯吾妻地区と、我が国4番目の面積を誇る猪苗代湖を中心に広がる猪苗代地区を合わせた地域である。爆裂地形が最も顕著な成層火山である磐梯山は、明治21年の大噴火により形成された爆発型の馬蹄形カルデラ地形が特徴である。当該噴火による山体崩壊により発生した岩屑^{がんせつ}なだれは、磐梯山の北麓に多数の流れ山を形成し、それらの間の凹地には五色沼をはじめ数々の火山性湖沼群が形成され、猪苗代湖に注ぐ長瀬川の上流が堰き止められ、桧原湖^{ひばらこ}、小野川湖^{おのがわこ}及び秋元湖^{あきもとこ}が出現した。一度堆積した岩屑なだれは、その後長年にわたり河川によって土砂が運ばれ、猪苗代湖の三角州を前進させている。猪苗代湖周辺には、高位、中位、低位の3段の湖岸段丘が発達しており、湖沼の水深は約94mあり、地殻の構造運動により形成されたと考えられる。約30万年前頃までに陥没によって猪苗代盆地ができ、その後磐梯山南西側が爆発して流下した岩屑なだれ堆積物が、猪苗代盆地の流出河川を堰き止め、猪

苗代湖の堰き止めの原型を形成したと考えられている。また、磐梯山の南麓には、^{おきなじま}翁島をはじめとする明治 21 年以前の大噴火による岩屑なだれ堆積物が見られる。吾妻火山群は、東西南北約 20km にわたり広がる成層火山であり、東北の火山フロントの一角を占め、主に安山岩や玄武岩質安山岩からなる溶岩流やテフラで構成される。吾妻火山には西吾妻山、中吾妻山、東吾妻山、一切経山、吾妻小富士等が含まれ、約 100 万年前頃から活動が開始され、約 40—50 万年前頃に東吾妻山が、約 30 万年前頃に一切経山が形成された。安達太良火山は、主に安山岩質の噴出物からなる小規模な火山が東西南北約 15km の範囲に及ぶ複合火山であり、^{きめんざん}鬼面山、^{みのわやま}箕輪山、^{あだたらやま}安達太良山等から構成される。安達太良火山の主体部は約 10—40 万年前に形成されたと考えられ、火山が南北に長く列を成すために東西の斜面が崩壊しやすく、多くの岩屑なだれ堆積物が見られる。磐梯吾妻地区では、火山活動により、火山の影響を受けている植生と比較的火山の影響を受けていない植生とで、異質の植物群落の発達が見られる。磐梯山周辺では、火山の泥流によって埋め尽くされた斜面は乾燥に強いアカマツ、ミネヤナギ等の火山荒原植生が見られ、磐梯山上部には高山ハイデや風衝草原が見られるが、噴火の影響が少なかった雄国沼にはミズバショウ等豊富な湿原植物が群落を成し、ニッコウキスゲ、リュウキンカ、コバイケイソウ、ヒオウギアヤメ等が見られる。また、浄土平を囲む一切経山や吾妻小富士は比較的新しい火山であり、砂礫地にはイタドリやコメススキ、ミネヤナギ等の火山荒原植生が見られる。一方で、^{おけぬま}桶沼付近ではキタゴヨウ、コメツガ等の亜高山帯植生やハクサンシャクナゲやミネカエデ等湿原植生、高山植物群落が見られる。吾妻山周辺には、オオシラビソ、ミズナラ、ブナ等の森林が広がり、吾妻山山頂部には高山植物群落が分布し、ヤエハクサンシャクナゲの自生地が存在する。猪苗代地区は、湖岸の植生はアカマツが主で、北側湖岸には学術的にも貴重であるミズスギゴケ群落がある。磐梯吾妻地区は野生生物も豊富に生息しており、クマタカ、オオタカ、ハヤブサ等の猛禽類の他、大型哺乳類のツキノワグマ及びニホンカモシカが分布している。猪苗代湖は冬季にハクチョウ類が渡来することで知られている。

以上より、磐梯朝日国立公園は、出羽三山・朝日地域及び飯豊地域の我が国最大級の豪雪環境によりもたらされた高山帯及び亜高山帯の自然林生態系と、磐梯吾妻・猪苗代地域のきわめて特徴的な爆裂火口を有する成層火山（磐梯山）を中心とした火山連峰及びこれらを風景型式とし、原生的な自然、豪雪環境によりもたらされる自然林生態系、壮大な火山景観、火山活動により造形された清らかな湖沼群といった非常に変化に富んだ自然景観を持ち、それぞれ傑出性が高いことから、我が国を代表する自然の風景地である。

② 規模

本国立公園の区域面積は 186, 594 ha である。

出羽三山・朝日地域	76, 610 ha
飯豊地域	41, 550 ha
磐梯吾妻・猪苗代地域	68, 434ha

③ 自然性

本国立公園の原生的な景観核心地域は、月山、磐梯山、吾妻山及び安達太良山に代表される主要な火山の山頂及び山稜部、桧原湖等の湖沼並びに朝日山地及び飯豊山地の山頂及び山稜部周辺であり、その区域面積は 50,948ha である（特別保護地区及び第 1 種特別地域）。

出羽三山・朝日地域	18,100 ha
飯豊地域	22,806 ha
磐梯吾妻・猪苗代地域	10,042ha

④ 利用状況

本国立公園の利用は、主に月山や飯豊山、磐梯山等を中心とした登山や、出羽三山における山岳信仰を要とした歴史探勝、吾妻小富士や裏磐梯の五色沼をめぐる自然探勝、山岳道路である磐梯吾妻スカイライン・磐梯山ゴールドライン沿線でのドライブ、スキー・スノーボード、火山活動を背景に点在する高湯温泉や土湯温泉郷等における温泉入浴、また、猪苗代湖におけるカヤック・ボートでの遊覧、湖水浴やキャンプ、桧原湖におけるカヤック・ボートでの遊覧、キャンプ、ワカサギ釣り等があげられる。

以上、国立公園及び国定公園の候補地の選定及び指定要領に記載される要件を満たすことから、本地域を国立公園に指定する。

また、本国立公園のテーマを「古の姿を守り続ける遼遠^{りょうえん}の花々、変わらずにはいられない火山の大地」とし、歴史の古い非火山の隆起山塊と、現在も変化を続ける比較的年代が新しい火山という対照的な自然景観を有する国立公園として、風致景観の保全と適切な利用を推進する。

2 地域の概要

(1) 景観の特性

ア 地形、地質

磐梯吾妻・猪苗代地域は、大磐梯山、櫛ヶ峰、赤埴山からなる磐梯火山や猫魔ヶ岳、古城ヶ峰からなる猫魔火山、そして西吾妻火山、中吾妻火山や東吾妻火山からなる吾妻火山、安達太良火山等の火山地域で構成される磐梯吾妻地域と猪苗代湖を中心に広がる猪苗代地域を合わせた地域であり、磐梯朝日国立公園の南東部に位置している。磐梯吾妻地区について、旧火山に属する吾妻火山は主に安山岩や玄武岩質安山岩で構成され、東吾妻火山は現在まで活動が続いている。吾妻火山の大部分が火山表土の分解により地形が鈍化し、泥炭地が点在する緩傾斜地が多い一方で、東吾妻火山の中央部の浄土平とその周辺には荒涼とした火山景観が広がる。この東吾妻火山では浄土平を火口底とする馬蹄型の浄土平爆裂カルデラが形成されており、火口底には、吾妻小富士や桶沼の火砕丘や火口跡が見られる。東吾妻火山群に含まれる一切経山は噴火の歴史が比較的新しく、各種の火山地形や火山現象が見られる。安達太良火山は、おもに安山岩質の噴出物からなる小規模な火山が複合しており、鬼面山^{きめんざん}、箕輪山^{みのわやま}、鉄山^{てつざん}、矢筈森^{やはずもり}、安達太良山^{あだたらやま}、和尚山^{おしょうやま}から構成される。矢筈森西側には沼ノ平付近を火口底とした沼ノ平爆裂火口が存在する。また、磐梯火山は爆裂地形が最も顕著な成層火山であり、明治 21 年の大噴火は後に磐梯式噴火と名づけられ、世界的にも著名である。磐梯火山の地形的特徴として、南北から見た山容が異なることが挙げられ、猪苗代湖から望む磐梯山南側の山容は典型的な成層火山の様子を持つが、北側から望む磐梯火山は大磐梯山と櫛ヶ峰の前面に発達する大きくえぐれたカルデラが展開しており、火山体の成長と崩壊を繰り返してきたことを伺わせる。磐梯火山の周辺には大噴火により形成された爆発型の馬蹄形カルデラ地形の他、桧原湖、小野川湖^{おのがわこ}、秋元湖^{あきもとこ}の三大堰止湖をはじめ、その水色の変化の美しさで知られる五色沼といった我が国有数の火山性湖沼群が存在する。さらに、この磐梯火山は明治 21 年の大噴火以前にも、山体崩壊が発生したと考えられる流れ山地形がいくつか確認されており、磐梯火山南西から猪苗代湖、会津盆地にかけての広い範囲に分布する岩屑なだれは、翁島泥流または翁島岩屑なだれ堆積物と呼ばれ、地溝性の猪苗代盆地の河川を堰き止め、猪苗代湖を形成したと考えられている。

イ 植生・野生生物

磐梯吾妻地区は火山活動の影響を受け、アカマツやススキ、イタドリ群落等の火山荒原植生が広く分布し、オオシラビソを主とする針葉樹林の原生林が広がる。磐梯山周辺や浄土平周辺では、火山による影響でアカマツ等が広く分布しているが、上部には高山植物群落及び風衝草原が見られ、磐梯山西方の雄国沼にはミズバショウ等豊富な湿原植物が群落を成し、ニッコウキスゲ、リュウキンカ、コバイケイソウ、ヒオウギアヤメ等が見られる。浄土平周辺では、火山の影響により乾燥地と湿潤地、その中間の適潤地とに区別され、乾燥地ではススキ、コメススキ、ミネヤナギ等が見られ、湿潤地ではワタスゲ、ガンコウラン、岩塊の多い適潤地では、イワカガミ、ハクサンチドリ、イソツツジ等が見られる。吾妻山の山腹には、ミズナラ、ブナ、キタゴヨウ、オオシラビソ、コメツガ、ヒメコマツ等の森林が広がる他、高所ではガンコウラン、ミネズオウ、コケモモ、クロマメ

ノキ等の風衝草原や雪田草原等が見られる。猪苗代地区は、湖岸の植生はアカマツが主で、北側湖岸には学術的に貴重とされているミズスギゴケ群落がある。磐梯吾妻地区は、日本を代表する野鳥の生息地として知られ、クマタカ、オオタカ、ハヤブサ等の猛禽類の生息も確認されている。哺乳類はツキノワグマ及びニホンカモシカその他、ニホンザルやヤマネ等が分布する。また、猪苗代湖の湖水は酸性であり、水生生物の種類は少なく、コイ、フナ、ウグイ等が生息している。冬季にはカモ類及びハクチョウ類が渡来することで知られ、コハクチョウは毎年2千羽以上が渡来する。

ウ 自然現象

磐梯吾妻地区においては、活発な火山活動を背景に、白布^{しらふ}、信夫高湯^{しのぶたかゆ}、土湯^{だけ}、岳^{ぬまじり}、沼尻等の数々の温泉が点在している。また、一切経山の大穴火口の噴気、猪苗代湖のしぶき氷、吾妻小富士の雪形（雪うさぎ）が知られている。

エ 文化景観

磐梯吾妻地区においては、猪苗代湖の上戸取水口から取水して安積^{あさか}平野を灌漑する安積^{あさか}疏水^{そすい}がある。また、吾妻山は神仏の宿る山として古くより山岳信仰の地とされており、中吾妻山の吾妻山大権現（吾妻山神社）が信仰の中心となっている。

（2）利用の現況

磐梯吾妻・猪苗代地域の利用は、磐梯山や安達太良山等での登山、浄土平の吾妻小富士や裏磐梯の五色沼をめぐる自然探勝、観光山岳道路として整備されている磐梯吾妻スカイラインや磐梯山ゴールドラインでのドライブ、裏磐梯スキー場や猪苗代スキー場、安達太良高原スキー場等におけるスキー・スノーボード、火山活動を背景とした高湯温泉や土湯温泉郷等における温泉入浴や宿泊、また、猪苗代湖におけるカヤック・ボートでの遊覧、湖水浴やキャンプ、桧原湖におけるカヤック・ボートでの遊覧、キャンプ、ワカサギの穴釣り、裏磐梯でのエコツアー等があげられる。磐梯山や猪苗代湖周辺は首都圏からのアクセスが良く、特に裏磐梯は磐梯高原とも呼ばれ、五色沼や雄国沼湿原等の国内有数の美しい景観地を有しており、多くの利用者が訪れる。また、磐梯吾妻スカイラインの中間地点にある浄土平は、自然探勝路の整備が充実しており、吾妻小富士のお鉢廻りや、初夏にかけて多彩な高山植物の鑑賞の他、近くに野営場も整備されていることから周辺の自然探勝の拠点として利用されている。令和3年には、本国立公園に462万人の利用者が訪れており、主な利用拠点の利用者は令和5年の調査で磐梯山は約2万6千人、五色沼が約7万7千人、雄国沼が約7千人となっている。

（3）社会経済的背景

ア 土地所有別

磐梯吾妻・猪苗代地域は、国有地 50,991ha、公有地 920ha、私有地 16,523ha であり、国有地の公園全体に占める割合が大きい。

イ 人口及び産業

磐梯吾妻・猪苗代地域に関係する各市町村の人口及び世帯数は、次の通りである（令和6年2月1日現在）。国立公園とかかわりの深い産業としては登山や温泉、スキー等のレクリエーションを利用した宿泊業や観光業が挙げられる。

都道府県名	市町村名	世帯数（戸）	人口（人）
山形県	米沢市	33,644	77,926
福島県	福島市	122,923	274,269
	会津若松市	49,250	112,449
	郡山市	143,185	321,108
	喜多方市	16,076	42,278
	二本松市	20,644	51,198
	安達郡大玉村	3,118	8,781
	耶麻郡北塩原村	1,087	2,425
	耶麻郡磐梯町	1,199	3,223
	耶麻郡猪苗代町	4,661	12,609

ウ 権利制限関係

（ア）保安林

（国有林）

種類	位置	重複面積(ha)	指定年月日
水源かん養	山形県米沢市地内	3,730.8	明治35.9.18
	福島県福島市地内	6,180.5	明治39.10.22 他
	福島県郡山市地内	868.2	明治40.9.19
	福島県喜多方市地内	240.0	昭和2.3.2 他
	福島県二本松市地内	750.7	昭和45.8.21 他
	福島県安達郡大玉村地内	936.0	昭和45.8.21
	福島県耶麻郡北塩原村地内	7982.1	大正6.11.26 他
	福島県耶麻郡猪苗代町地内	5548.0	大正6.11.26 他
土砂流出防備	山形県米沢市地内	3,980.0	明治35.9.18
	福島県福島市地内	578.5	明治37.3.24 他
	福島県郡山市地内	57.2	大正6.11.26 他
	福島県安達郡大玉村地内	11.7	平成4.1.21
	福島県耶麻郡磐梯町地内	223.9	昭和37.2.19 他

種類	位置	重複面積 (ha)	指定年月日
	福島県耶麻郡猪苗代町地内	308.8	昭和 37. 2. 19
土砂崩壊防備	福島県福島市地内	6.4	大正 2. 8. 14 他
	福島県二本松市地内	1.2	大正 8. 2. 24
公衆の保健	山形県米沢市地内	59.3	昭和 58. 5. 11
	福島県二本松市地内	166.5	昭和 56. 1. 31
	福島県耶麻郡北塩原村地内	257.0	昭和 58. 10. 17 他
落石防止	福島県二本松市地内	1.9	平成 4. 1. 21
水源かん養 公衆の保健	福島県福島市地内	1,384.3	明治 39. 10. 22 他
	福島県郡山市地内	9.7	明治 40. 9. 19
	福島県二本松市地内	616.1	昭和 45. 8. 21 他
	福島県耶麻郡北塩原村地内	253.9	昭和 45. 2. 4
土砂崩壊防備 公衆の保健	福島県福島市地内	8.4	明治 37. 5. 28

(民有林)

種類	位置	重複面積 (ha)	指定年月日
水源かん養	山形県米沢市地内	3,284.4	明治 45. 7. 3
	福島県福島市地内	142.4	明治 39. 10. 22
	福島県喜多方市地内	1,044.1	大正 14. 4. 22
	福島県耶麻郡北塩原村地内	553.7	昭和 35. 5. 28
	福島県耶麻郡磐梯町地内	896.3	昭和 5. 4. 22
	福島県耶麻郡猪苗代町地内	673.3	昭和 31. 1. 12
土砂流出防備	山形県米沢市地内	257.3	明治 35. 9. 23
	福島県福島市地内	335.6	大正 2. 2. 5
	福島県郡山市地内	0.3	平成 18. 6. 8
	福島県二本松市地内	8.7	大正 4. 11. 15
	福島県耶麻郡北塩原村地内	79.0	平成 8. 4. 8
	福島県耶麻郡猪苗代町地内	256.3	大正 9. 4. 17
土砂崩壊防備	福島県郡山市地内	0.6	昭和 41. 12. 28
	福島県耶麻郡猪苗代町地内	3.2	平成 27. 5. 27
公衆の保健	山形県米沢市地内	63.8	昭和 57. 2. 24
	福島県会津若松市地内	0.8	昭和 56. 1. 13
	福島県喜多方市地内	149.1	昭和 51. 12. 17
	福島県耶麻郡猪苗代町地内	108.5	昭和 54. 2. 6

種類	位置	重複面積(ha)	指定年月日
雪崩危険防止	山形県米沢市地内	3.2	昭和 48. 12. 10
風致	福島県郡山市地内	0.1	昭和 26. 7. 14
防風	福島県会津若松市地内	2.2	不明
	福島県郡山市地内	15.3	大正 5. 4. 12
	福島県耶麻郡猪苗代町地内	29.6	明治 36. 9. 23
落石防止	福島県郡山市地内	0.9	明治 36. 2. 9
	福島県耶麻郡猪苗代町地内	0.7	明治 36. 9. 12
土砂流出防備 公衆の保健	山形県米沢市地内	124.7	大正 4. 3. 13
公衆の保健 干害防備	福島県郡山市地内	7.3	平成 7. 6. 6

(イ) 鳥獣保護区

(県指定)

保護区名	位置	重複面積(ha)	指定年月日
吾妻	山形県米沢市	4,650.9	昭和 57. 11. 1
磐梯ゴーストライン 鳥獣保護区	福島県耶麻郡磐梯町地内	282.5	昭和 49. 11. 1
猪苗代鳥獣保護区	福島県耶麻郡猪苗代町、会津若松市及び郡山市地内	10,417.7	昭和 29. 11. 10
沼尻鳥獣保護区	福島県耶麻郡猪苗代町地内	0.8	昭和 47. 11. 1
前ヶ岳鳥獣保護区	福島県安達郡大玉村及び二本松市地内	180.2	昭和 49. 11. 1
表磐梯鳥獣保護区	福島県耶麻郡猪苗代町	333.3	昭和 57. 11. 1
吾妻山鳥獣保護区	福島県福島市及び耶麻郡猪苗代町地内	5,843.6	平成 11. 11. 1
裏磐梯鳥獣保護区	福島県耶麻郡北塩原村及び耶麻郡猪苗代町地内	17903.0 (うち特保 3,440.3)	昭和 56. 11. 1

(ウ) 史跡名勝天然記念物

区分	名称	位置	指定年月日
国指定 特別天然記念 物	ニホンカモシカ	区域定めず	昭和 30. 2. 15
国指定 天然記念物	吾妻山ヤエハクサンシヤク ナゲ自生地	福島市庭坂字大平・ 神ノ森・蓬平地内	大正 12. 3. 7
	雄国沼湿原植物群落	福島県耶麻郡北塩原 村地内	昭和 32. 10. 30
	猪苗代湖ミズスギゴケ群落	福島県耶麻郡猪苗代 町地内	昭和 10. 12. 24
	猪苗代湖のハクチョウおよ びその渡来地	福島県耶麻郡猪苗代 町地内	昭和 47. 2. 9
	ヤマネ	区域定めず	昭和 50. 6. 26
	オジロワシ	区域定めず	昭和 45. 1. 22
	ヒシクイ	区域定めず	昭和 46. 6. 28
	マガン	区域定めず	昭和 46. 6. 28
県指定 天然記念物	安達太良山ヤエハクサンシ ヤクナゲ自生地	福島県福島市地内 福島県二本松市地内 福島県耶麻郡猪苗代 町地内	昭和 30. 2. 4

3 公園区域

磐梯朝日国立公園（磐梯吾妻・猪苗代地域）の区域を次のとおりとする。

（表 1：公園区域（陸域）表）

都道府県名	区 域	面 積 (ha)
山形県	米沢市内 国有林置賜森林管理署 210 林班から 213 林班まで、217 林班、219 林班及び 221 林班から 224 林班までの全部並びに 214 林班、216－Ⅰ 林班、218 林班及び 220 林班の各一部 米沢市 大字入田沢、大字大沢、大字大平、大字李山及び大字関の各一部	6,810
	小 計	6,810
福島県	福島市内 国有林福島森林管理署 27 林班から 31 林班まで、33 林班、36 林班から 39 林班まで、42 林班、43 林班、45 林班、46 林班、49 林班から 52 林班まで、55 林班及び 59 林班の全部並びに 32 林班、34 林班、35 林班、44 林班、53 林班、56 林班及び 60 林班の各一部 官行造林在庭坂 3 林班の一部 福島市 桜本、土湯温泉町及び町庭坂の各一部	8,530
	会津若松市内 国有林会津森林管理署 20 林班の全部 会津若松市 湊町大字赤井、大字共和及び大字静潟の各一部 会津若松市内 猪苗代湖の全部	3,270

都道府県名	区 域	面 積 (ha)
	郡山市内 国有林福島森林管理署 242 林班から 244 林班までの全部 郡山市 湖南町の一部 郡山市内 猪苗代湖の全部	3,663
	喜多方市内 国有林会津森林管理署 388 林班及び 396 林班の全部 官公造林地小峠 1 林班の全部 喜多方市 岩月町、熊倉町、関柴町及び塩川町常世の各一部	1,600
	二本松市内 国有林福島森林管理署 12 林班、13 林班、15 林班から 17 林班まで、19 林班及び 20 林班の全部並びに 14 林班及び 18 林班の各一部 二本松市 丘温泉、塩沢及び永田の各一部	2,060
	安達郡大玉村内 国有林福島森林管理署 3 林班及び 8 林班から 11 林班までの全部並びに 2 林班及び 7 林班の各一部 安達郡大玉村 玉井の一部	1,600

都道府県名	区 域	面 積 (ha)
	耶麻郡北塩原村内 国有林会津森林管理署 379 林班から 383 林班まで及び 406 林班から 465 林班までの全部 耶麻郡北塩原村 大字大塩、大字関屋及び大字桧原の各一部 耶麻郡北塩原村内 小野川湖、桧原湖及び秋元湖の全部	18, 549
	耶麻郡磐梯町内 国有林会津森林管理署 105 林班の全部 耶麻郡磐梯町 大字大谷、大字更科及び大字磐梯の各一部	1, 562
	耶麻郡猪苗代町内 国有林会津森林管理署 101 林班から 104 林班まで、166 林班から 186 林班まで、189 林班から 194 林班まで及び 197 林班から 200 林班までの全部並びに 195 林班及び 196 林班の各一部 官行造林乳下 1 林班、長瀬 4 林班、5 林班、8 林班、10 林班、11 林班、吾妻 2 林班から 7 林班まで、10 林班から 13 林班まで、千里 1 林班、根次 1 林班、猪苗代 1 林班及び土湯沢 1 林班の全部 耶麻郡猪苗代町 大字磐根、大字翁沢、大字蚕養、大字中小松、大字山潟、大字若宮、字イトピン南、字入竹小屋、字大茂田沢山、字大茂田、字果報坂、字志田、字松ヶ峯、字櫛ヶ峰、字立目山、字天鏡台、字野老沢、字トコロ沢、字トコロ沢山、字隕下沢山、字西赤道、字離松、字東赤道、字二ツ岩、字丸山前、字丸山入、字水滴沢山、字屋敷山、字若松、字イトピン山、字沼ノ平、字大道山、字グミ沢原、字グミ沢山、字土湯沢山、字土湯沢原、字葉山、字琵琶沢原、字平次郎沢、字乳下、字磐梯山、字見弥山、字七曲山、字屋敷原、字後磐梯山及び字山ノ神原の各一部 耶麻郡猪苗代町内 秋元湖及び猪苗代湖の全部	20, 790

都道府県名	区 域	面 積 (ha)
	小 計	61,624
	合 計	68,434

